

臨床実習Ⅰ

[実習] 第1学年 通年 必修 1単位

《履修上の留意事項》面接授業のみ実施

《担当者名》○宮崎充功 鈴木英樹 泉唯史 吉田晋 小島悟 高橋尚明 武田涼子 佐々木祐二 澤田篤史
長谷川純子 大須田祐亮 中村宅雄 大内みふか 山根裕司 佐藤一成 鈴木伸弥 岩部達也 多田菊代

【概 要】

本実習では、事前講義、施設見学（急性期あるいはそれに準じる施設、回復期施設、保健・福祉施設の三施設）、学内セミナーおよび事後講義を通して、各施設における理学療法士の業務全般の理解、関連職種との連携、あるいは各施設の社会的役割等を把握し、理学療法士の職域の広がりや地域社会における役割についても理解する。

【学習目標】

理学療法および理学療法士業務の実際を理解するために臨床の現場において理学療法の見学を行い、理学療法の具体的内容や業務内容を説明できる。

1. 医療機関や保健・福祉施設の業務内容や社会的機能を分類し、説明する。
2. 医療機関や保健・福祉施設内における理学療法部門の位置づけを説明する。
3. 理学療法士は対象者に対してどのような評価・介入を行っているか説明する。
4. 社会人、理学療法士として、ふさわしい言動や態度を示す。
5. 医療機関や施設内における関連職種との連携体制について、その概要を説明する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	理学療法の流れ	臨床実習の日程、進め方、課題とその提出、評価の仕方について理解する。 急性期・回復期・生活期における理学療法の違いを理解する。 実習生としての言動や振る舞いについて理解する。	宮崎充功
2) 3	中枢神経疾患の理学療法	中枢神経疾患における、急性期・回復期・生活期理学療法の違いを理解する。	吉田晋
4) 5	骨関節神経疾患の理学療法	骨関節疾患における、急性期・回復期・生活期理学療法の違いを理解する。	武田涼子
6) 7	内部疾患の理学療法	内部疾患における、急性期・回復期・生活期理学療法の違いを理解する。	澤田篤史
8) 10	グループワーク	身だしなみ・お礼状の書き方・接遇に関する実践的演習	宮崎充功 中村宅雄 多田菊代
11) 12	急性期理学療法の意義と実際	急性期病院で働く理学療法士による講義	宮崎充功 中村宅雄 多田菊代 濱本龍哉 佐々木隆
13) 14	回復期リハにおける理学療法の意義と実際	回復期リハで働く理学療法士による講義	宮崎充功 中村宅雄 多田菊代 只石朋仁 三浦富美彦
15) 16	生活期における理学療法の意義と実際	生活期で働く理学療法士による講義	宮崎充功 中村宅雄 多田菊代 長尾俊

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
			内藤麻生
17 (22	理学療法体験	1. スタンダードプリコーション（手洗い・手指消毒） バイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸数） 2. 評価・治療（ROM, MMT, ストレッチ, 物理療法） 3. 基本動作（片麻痺疑似体験、車いす乗車・駆動介助）	宮崎充功 中村宅雄 多田菊代
23	まとめ	一連の講義と実習を通して、理学療法士になるための行動目標、達成目標についてまとめる。	宮崎充功 中村宅雄 多田菊代

【評価方法】
レポート100%

【備 考】

教科書 ： 必要に応じて、講義資料を配布する。

その他 ： 「臨床実習の手引き」を配布する。

【学習の準備】

「臨床実習の手引き」と配布資料を熟読し、実習に必要な準備をすること。

【見学日程】

見学時期は追って説明する。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP1）生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。

（DP2）最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力を身につけている。

（DP3）理学療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

（DP4）関係職種と連携し、質の高いチーム医療の実践的能力を身につけている。

（DP5）国際的および地域的視野を有するリハビリテーションの専門家として活躍できる能力を身につけている。

（DP6）社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および理学療法科学の開発を実践できる能力を身につけている。